

喀痰 3 号研修について

副支部長 西成田 史郎

今年初めての 3 号研修を 1 月 28 日、29 日に道難病センターで開催しました。

今回は帯広からの受講者も含め 11 名で開催しました。

テキストのボリュームに比較して、講義時間数も短く尚且つ 2 日目に修了試験があります。

受講者の皆さんは 1 限目から講師の話しを熱心に聞いていました。普段長い時間椅子に座って講義を聞くことも余りないので、大変だったと思います。講師も皆さんが飽きない様に工夫をしています。日常ヘルパーとして仕事をしているなかで、法律的な事に余り関わりがないと思います。痰の吸引、経管栄養は医療行為なので、きちんと対応出来る知識を学ぶ必要があります。

実技研修は人体と同じ人形を使いながらやります。人形が相手とはいえ、慣れない手付きながら皆さん真剣に取り組んでいました。

修了試験も全員無事合格して、講師をはじめ我々スタッフも 2 日間の苦勞が実り安心しました。

受講者の皆さん、利用者さんが待っていますよ。